

## 弘前大学白菊会の皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	肝静脈周囲のリンパ管マップの開発		
2. 対象となるご遺体	献体登録に基づき弘前大学白菊会に入会され、献体していただいたご遺体を使用します。本研究の目的を遂行するために、腹部の発達障害、肝切除の既往がないご遺体を用います。		
3. 対象となる期間	2019年10月1日 ～ 2021年 3月 31日		
4. 実施診療科等	消化器外科学講座、生体構造医科学講座、神経解剖・細胞組織学講座		
5. 研究責任者	氏名	梅村孝太郎	所属 消化器外科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	ありません。		
7. 研究の意義	リンパ節転移のある肝内胆管癌や縦隔転移を認める消化肝癌肝転移症例の予後は悪いが、その転移ルートは不明な点があります。これを明らかにすることは縦隔内リンパ節の制御を考える上で極めて重要であります。これまで、肝内リンパ管ネットワークの研究は少なく、肝内から肝外へのリンパ管ネットワークに関する基礎研究はほとんどありません。本研究では分子から肉眼レベルにわたる幅広い解剖学的アプローチを用いて、肝-肝静脈-横隔膜-縦隔リンパ管系のリンパ管ネットワークを解明し、ヒト肝静脈周囲のリンパ管系の地図(Liver-Mediastinum Lymphatic System map; LMLS MAP)を開発します。これにより、肝癌治療に関する詳細なデータを提供し、リンパ節郭清を始め新たな治療戦略を提唱できると考えられます。		
8. 研究の目的	肝静脈周囲のリンパ流に関し、ナノ～マクロレベルのデータを収集し、リンパ流に基づく肝臓-縦隔リンパ管系(liver-mediastinum lymphatic system map; LMLS Map)の構造と機能を明らかにすることを目的とします。本研究により三次元的なLMLSの地図(LMLS Map)を構築することで手術を中心とした新規治療プログラムの策定のための基盤データの構築につながると考えられます。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	データ収集の手順 1)提供して頂いたご遺体から肝臓を摘出します。 2)肝臓のリンパ管に関する肉眼解剖学的なリンパ管の形態などのデータを採取します。 3)肝臓リンパ流について同部の組織標本を光学および電子顕微鏡にて観察し、リンパ管の微細構造、形態などのデータ採取を行います。		
10. 個人情報の保護	課題経過中および終了後において、調査結果については、研究目的以外に使用することは無く、対象者の個人情報を外部に漏らすことはありません。本研究で得られた個人情報は、データの分析のみに使用し学会発表や論文投稿においても個人を特定できる情報は削除し発表いたします。		
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属する講座では、大鵬薬品工業(株)、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、小野薬品工業(株)、(株)ヤクルト本社、エーザイ(株)、MSD(株)、日本イーライリリー(株)、第一三共(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にあるが、これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施される。		
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科 消化器外科学講座 梅村 孝太郎		
	電話	0172-39-5079	FAX 0172-39-5080